

# 令和7年度 健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

令和 8 年 4 月 3 日

大津市健康福祉部福祉指導監査課長 あて

(事業所名) 放課後等デイサービスくまのたけい  
(所在地) 大津市下江三丁目11-18  
(担当者名) 管理者 辻子 慎也

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 施設・事業所の名称

放課後等デイサービスくまのたけい

### 2 評価基準およびサービスの種別 (該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入)

#### ○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準① [障害者/施設、グループホーム]

(種別: )

イ 障害福祉サービス共通評価基準② [障害者(児)/在宅]

(種別: )

ウ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ 保育所訪問支援自己評価表

※種別 (記入例: 就労継続支援B型)

### 3 自己評価の実施時期 (自己評価結果をとりまとめた時期)

令和 8 年 3 月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい ・ 提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- |                 |    |   |     |
|-----------------|----|---|-----|
| ① 大津市への送付       | した | ・ | しない |
| ② ホームページ掲載      | した | ・ | しない |
| ③ 施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ④ 利用者・家族へ送付     | した | ・ | しない |
| ⑤ その他の方法での公表    |    |   |     |

（具体的に：

）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- |                 |    |   |     |
|-----------------|----|---|-----|
| ① 大津市への送付       | した | ・ | しない |
| ② ホームページ掲載      | した | ・ | しない |
| ③ 施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ④ 利用者・家族へ送付     | した | ・ | しない |
| ⑤ その他の方法での公表    |    |   |     |

（具体的に：

）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスぐっどたいむ		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		R8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		R8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の内容や子どもの様子について、話し合いや会議の機会を設け、より良い支援の向上に繋げている。	毎日、支援前の申し送り、支援後の振り返りを行っている。 その日の記録も記載している。	知識向上のための研修や勉強会を取り入れる。
2	安全な支援・虐待防止・防災対策(避難訓練)など施設全体で取り組んでいる。	年間行事予定を組み研修や会議、訓練を行っている。 また、外部研修にも参加している。	全職員が中心となって物事を考えるようにしていく。
3	子ども・職員が楽しい、居心地が良いと思える環境作りをしている。	遊びや支援の中で「楽しい・できた」などの経験や体験ができる機会をたくさん作っている。	個性を伸ばすとともに、柔軟な感受性を育む機会を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者委員会による評価	事業所単位での第三者委員会選定や召集の難しさ。	他法人や自立支援協議会での情報提供や依頼などを行う。
2	放課後児童クラブや児童館	児童クラブなどの交流に関してはできておらず、難しさを感じている。	他法人や自立支援協議会での情報提供や依頼などを行う。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 R8年4月5日					
放課後等デイサービス くっどたいむ		利用児童数 26			回収数 18		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		正職員5名、非常勤職員3名現状のくっどたいむ所属スタッフです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	1	2	どんな様子かみることができないので分かりづらい。	障害特性に応じて、できる限りの配慮と支援をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1			どんな様子かみることができないので分かりづらい。	子どもたちが帰宅後、毎日掃除を行っています。部屋が3室、庭があり活動に応じて環境を整えながら支援しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	7	必要ないと思う。	買い物や公園、一般的な施設など、様々なところに出かけ、社会的な活動と経験をしています。その際に児童クラブや地域の子どもと交流することもあります。	
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	5	7		面談や日々の送迎時に支援のことや、子ども・家族のことについて、話し合いを通して、助言させてもらうことがあります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17	1			送迎時に丁寧に伝えて下さりありがたい。	ありがとうございます。引き続き、丁寧に子どもの状況を伝えさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18						

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	10	4	ニーズの有無なのは、	今現在、保護者会などの機会はありません。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1		2		相談や困ったことがあれば、送迎時や電話等で対応させてもらっています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	2	4		活動概要等は、毎月のお便りに記載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		1	6	どのように訓練しているのか知りたい。	マニュアル関係につきましては、各種マニュアルを作成し、事務所に提示しております。ご希望がありましたら面談時等にお伝えください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		3	どのように訓練しているのか知りたい。	避難訓練・救命救急講習・感染症・防災などの研修・訓練を定期的に行っています。ご希望がありましたら面談時等にお伝えください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		2		子どもの安全を第一に考え、環境を整え支援するように努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		2		事故（怪我等も含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や状況説明ができるように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18					ありがとうございます。引き続き、子ども達が楽しみに通所できるよう、様々な取り組みを考え、実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ぐっどたいむ		R8年 4 月 5 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・視覚支援、タイムタイマーなど活用している。	・子どもにわかりやすい構造化された環境がもう少しあっても良い。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・年度毎に業務の割り振りを見直ししている。 また、都度業務改善を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・ホームページにて公開・事業所内で閲覧できるよう印刷し掲示している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・外部研修への積極参加に加え、法人内での研修を定期的実施している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・毎日活動の振り返り会議を行い、月毎に個別での情報共有、支援会議を行い支援計画の作成へと繋げている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・日々の振り返りを行うとともに、月毎に各児童の様子を共有(振り返り会議)し、支援計画の作成へ繋げている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・毎月活動会議を事業所内で開催。 職員間で情報交換しながら計画している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・申し送り会議を支援開始前に行っている。 日々の変化や注意点等の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日送迎後に振り返り会議を行い、その日あった事を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の過ごしや状況を記録し、定期的に振り返り会議を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当職員もしくは、児童発達管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時に担任と引継ぎを行っている。 個別での共有が必要な場合には別途電話にて連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保育所訪問等を行い、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・ぐっどたいむは、卒業後はぐっどらいふに行く子どもが多いため、2事業所間での情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・放課後部会に参加している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・直接的なペアレントトレーニングは行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・個別面談での相談や日々の送迎に相談・助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月毎に活動内容を掲載したお便りを発行・配布している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・各種マニュアルを作成し、事務所に掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		・避難訓練は年2回実施している。その他必要に応じて、訓練(救急救命講習など)に参加している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・アセスメントに服薬やてんかん発作等の項目を記載し、保護者から聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		・アセスメントシートにアレルギー項目を記載、保護者に確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・毎日の振り返り時に確認している。 定期的にもとめを作成。またファイルを作成し共有を図っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・虐待防止委員会を設置し、虐待に関する会議や研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・身体拘束適正化委員会を設置し身体拘束の必要性の有無について会議を開催している。 また、保護者への丁寧な説明を行っている。		

## 障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

### ○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①項目『9』に関して、自立支援協議会での検討も含め事業所として更なる改善の検討を行う必要がある。

③項目『11』に関して“楽しさ”を重視しつつも利用児童の成長や発達にポイントとなる活動を設定していく。

③項目『14と15』に関して常勤職員だけでなく、パートスタッフを含めた事業所全スタッフで情報共有の強化と支援につながる知識向上を目指していく。

③項目『28』に関して学校との連携において、まずは担任との信頼関係の構築を図り、何かあってからではなく、いつでも日頃からの連携に努める。また、場合によっては会議の日を設けたりしていきたい。

③項目『29』に関して就学前の関係機関や相談支援事業所とのつながりを重視し、情報共有の強化を図る。

③項目『46』に関して今年度も定期的な訓練を計画・実施し、防災意識の向上を図る。



## サービス改善計画書

策定日：令和 8年 4月 3日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：ぐっどたいむ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
10	○	研修内容や外部研修機会の更なる向上	事業所内研修においては、研修内容の策定及び実施を行う。外部研修に関しては、スタッフへの周知・提案を行い、積極的な参加を行っていく。	令和9年3月末 1年間	辻子	
10	○	事業所年間研修予定の充実	事業所でどんな研修が必要なのか経験等を踏まえて必要な研修を適宜行えるように年間計画に盛りこむ	令和9年3月末 1年間	辻子	